

2009－2010 年度富山第 3 分区 IM（都市連合会）

2010 年 3 月 27 日（土） 於：小杉カントリークラブ

＊ 懇親ゴルフ大会

＊ IM 午後 4 時 登録受付

1. 開会点鐘（午後 4 時半）セレモニー…山口秀雄ガバナー補佐挨拶、ホストクラブの藤井和博射水 RC 会長歓迎挨拶。
2. ガバナー近況報告…中川可能作ガバナー挨拶：世の中、真っ暗闇で、何とか元気を出しと行こうと「楽しみながら、人間を磨こう」をテーマにやってきましたが、もう少しになってきました。10 月に地区大会でも、金沢音楽堂に 1100 名集め、3S（Simple、Smart、Sincere）の精神で節約をモットーに開催し、また一方では、東の芸妓衆でメリハリをつけました。先日、2670 地区の地区大会に参加、今旬の高知・松山に行って、龍馬や坂ノ上の雲の名所を訪ねてきました。記念講演は、保守系の女性論客、桜井よしこさんの「日本丸よ、どこへ行く」戦後の民主化の元に GHQ に日本弱体化を図られたが、いままた、鳩山民主体制で、外国人参政権・夫婦別姓を認めようという法務官僚の亡霊に踊らされた政策で、まさに亡国の危機であるという話を聞いてきました。こんな世の中こそ、ロータリアンがしっかりしなければならないと思います。
3. 各クラブ活動報告

① 井波庄川ロータリークラブ（山本武夫会長エレクト）

当クラブは、昨年創立 30 周年を迎えました。その記念事業として、庄川水記念公園に、環境保護の看板を設置しました。その看板には「水は命の源 美しいまま 海へ…」と掲げました。この第 3 分区は、庄川水系のクラブの集まりです。井波庄川ロータリークラブは、その最も上流に位置します。

創立以来、社会奉仕活動で「ごみゼロ運動」を実施してきました。ゴミを拾う運動から、近年はゴミを出さないよう啓蒙する運動へ転換していかねばならないと考えています。特に、上流にある地域はそういう意味での責任があります。

また、水と言えば森林、山が綺麗でなければなりません。「カシノナガキクイムシ」のために、ドングリのなる樹木が枯れ、そのために山に住むクマの食糧が亡くなり、人里への被害も出ました。井波庄川ロータリークラブでは、「南砺の山々を守る」運動にも協力しています。南砺 RC と一緒に植樹などを行い、支援しております。

水といえば、当クラブの「いい歯のキャンペーン」活動も関係があります。むし歯予防といえば、フッ化物による方法が一番優れていますが、特に水道水フッロリデーションは、人類が自然から学んだ英知の所産と言われています。第 3 分区、2610 地区皿には日本全体へ広がることを期待して活動をしています。

個人的なことになりますが、私がロータリークラブに入会するきっかけになったのは、ロータリークラブとは「治療よりも予防を目指す」精神を持っていると誘われたことです。

「四つのテスト」はまさにむし歯予防にピッタリです。

「治療よりも予防」「ゴミを拾うより、出さないように」「ポリオ撲滅」などは、GO UP STREAM!! 『上流に向かえ』と言う考えに基づきます。

私は、入会 10 年目ですが、1 職業人として、その中に身をおき職業奉仕とは何かと考えるとき、ある先輩が教えてくれた「Public Health Mind」を持つ歯科医になれ、ということを思い出します。

「みんなの健康は社会全体で、守ろう」この考えを当井波庄川ロータリークラブは、持ち続けたと思います。

② 新湊ロータリークラブ（越後正幹事）

継続事業としては、姉妹提携 RC（郡上八幡 RC）との交流をしています。婚活バスツアーを計画し若者の出会いを図り、地元離れ抑止に貢献しようとしています。また、国際親善の交換留学生を受け入れています。ローターアクトでは、5 月の地区大会をサポートします。

その他、今年度はクラブフォーラムを 3 回実施。また、射水市内 3 RC と共同でケーブルテレビで広報を行っています。同好会では、野球が大活躍で、昨年は甲子園に出場、全国ベスト 8 に。

③ 新湊中央ロータリークラブ（池田茂職業奉仕委員長：前ガバナー補佐）

当クラブは、会員数の減少が著しく、10 周年時にピークの 47 名が現在 20 名です。少ないと言う事の欠点としては活動ができないということですが、長所は会員の顔や家族の顔が見えるということです。旧新湊には 2 つのクラブがあり、一方は 50 名の会員です。合併したらという話もありますが、合併したら合わせて 70 名いる会員は、維持できるかわかりません。二つある

からこそ、70名を維持できると考えて、我がクラブも頑張ります。活動の一つ、いみず苑という授産施設に訪問し、園児とサツマイモと一緒に植えて、秋に収穫し、一緒にクッキーなどを作り、「いみず苑祭」にバザーで売って収益金を寄付しています。過去に米山奨学生を3名世話をし、最近砺波 RC の会員の黒田化学に就職が内定し、嬉しく思っています。

④ 高岡ロータリークラブ（住元嘉雄会長）

名前を呼ばれて、大きな返事をしました。わが社は「元気」をコンセプトに社員にも規範として示しています。高岡 RC は、次々年度、60周年を迎えます。直近の会長として準備にかかります。

さて、現在我がクラブは、国際青少年交換学生のレイチェルさんを受け入れ、福岡高校への通学を支援しています。また、台湾台北市近郊の板橋 RC と昭和42年より、姉妹提携し、相互訪問をしています。会員夫人の会でも、歓迎されています。また、昨年は開町400年で「前田利長公シンポジウム」を開催しました。これは、高岡の未来を見据え、平成4年2000回例会からスタートしました。高岡に生まれたことを誇りに思い、感謝しようと企画をしています。現在「御車山会館」を建設中ですが、今年は「御車山と山町」をテーマに、5月20日（木）6時から、ホテルニューオータニ高岡で、シンポジウムを開催いたします。皆様、是非ご参加を。

⑤ 高岡万葉ロータリークラブ（飛見立郎会長）

昨年度高岡開町400年で、我がクラブは20周年を迎えました。我がクラブは、海外協力活動を行っています。一つは、フィリピンへの医療援助、もう一つは、タイへの識字率向上運動です。地に足の着く運動を考え、タイへの運動を継続しています。実際にタイを訪問し、子ども達のよろこぶ姿を見て、帰って報告するよう務めています。後進国に物を持って行って、壊れたらどうすると聞いたら、捨てるという話に遭遇し、援助に対する見方を変えました。タイの子ども達に、「本を通じて、夢を与える」運動をこれからも続けていきます。

⑥ 砺波ロータリークラブ（近江俊郎会長）

我がクラブは、「ロータリアンよ、街へ」と呼びかけています。住んでいてわかっているつもりでも実際よく理解していない事がたくさんあります。砺波には、有名なものとして①散居村②チューリップ公園③ニチマ倶楽部があります。まず、「散居村」は、砺波平野だけでなく、高岡にまで広がる景観をもっています。そして、全ての田圃に水がはると、夕焼けを映す景観の素晴らしさだけでなく、地球に優しい『ヒート・アイランド』を解消する役目もあります。次に、年間30万人とも言われるチューリップフェアの入場者を素通りさせないで、1割でも街に入ってもらようにし、そのうちのさらに1割でも、宿泊できるように務めようと考えています。さらには、オープン以来20年のニチマ倶楽部が今月で閉館しますが、あるうちに使えるよう、再生を考えています。

そのほか、砺波市には「増山城跡」があります。昔400あった山城のうち、4番目の規模の山城と言われており、その昔、増山城からは、遠く瑞龍寺や瑞泉寺も見渡せる、いわば砺波平野、高岡、射水を一望できるもので、そのいったいには大きな寺や町があったそうです。この遺産も大事にしたいです。これらは、ロータリアンが積極的に街へ出ようと務める中で、発見したもので、現在、月水金、FM となみで PR の広報活動をしています。

さて、もう一つは、チューリップ例会のお誘いです。今年は、4月26日（月）「ふかまつ」が会場となります。是非、ご出席下さい。

⑦ 射水ロータリークラブ（上田雅裕職業奉仕委員長）

本日は、IM で小杉カントリーまで、ようこそ。実は、ここは、山口ガバナー補佐の地元で、帰り道に、山口左官がありますので、注目して下さい。

射水 RC は、現藤井和博会長が、29代目で、来年が30周年です。チャーターメンバーも一握りとなり、高岡 RC から別れたときの考えを伝える人が少なくなりました。当初、読売会館に事務所を置いていましたが、何年かして射水市内に変わりました。親クラブの高岡 RC 同様、例会出席率100%を厳しく続けてきました。病欠は、国際ロータリーの規定では欠席扱いとされていたそうですが、最近は欠席扱いとするかどうかは、各クラブの判断に任されているそうです。これからも、100%を続けていきたいです。

青少年委員会の活動で、「救急蘇生」を消防署員や警察署員の協力を得て、実施してきました。武道大会や交通安全大会などで講習を行ってきています。また、国際親善交換留学生をこれまでの30年足らずの間に、7名も受け入れてきました。

4. ガバナー所感（中川可能作ガバナー）・・・高知の2670地区大会の桜井よしこさんの講演の補足。

5. 閉会点鐘

6. 交流懇親会・・・崎山武夫ガバナーエレクトの乾杯がありました。